



Lead【ニュース】

◇ 流しそうめん ◇ 7月21日(金) まんぷくCAFE 15:00-20:00

まんぷくCAFEにて、初めて夕暮れ時に流しそうめんを行いました。また、例年は竹のラインが一本なのですが、距離を短くして、2本のラインにしました。そうすることで、混み合うことも少し減ったように思います。

徐々に暗くなっていく景色に子どもたちも、普段のたいむではなかなか味わえない雰囲気に喜んでいました。流れてくるそうめんはもちろん、一口ゼリーやフルーツ(差し入れのブルーベリー)、らっきょうなどにも喜び、主に幼稚園児と小学生が、「なかなかつかめない」「もっと流して」など、笑い声が交わりながらゲーム感覚で楽しんでいました。他にも差し入れていただいたカボチャを使ってツナとマヨネーズで和えたカボチャサラダも好評でした。流しそうめんの他にはスイカとメロン割りもしました。薬味も好評で、特に“食べるラー油”や“キムチ”など、意外な組み合わせが人気でした。

たいむのお母さんと学生がボランティアとしても参加し、食事の状況を見ながらそうめんを茹でたり、学生も子どもたちとのやりとりを楽しみながら行っていました。そして、「やってみたい」と小学生も実際に流すことを経験したり、片付けをしたり、大人も子どもも自分たちのできることをお互いに声を掛け合っている姿が印象的でした。



Episode【事例】

■ 他のひろばを見学して ■

7月上旬に、「こういうことをしてみたい」と石井に話をしたことがきっかけとなり、他のひろばを見学させていただく機会に恵まれました。7月19日(水)に世田谷区の『のざわテットーひろば』、7月29日(土)には、新宿区の『ゆったりーの』と、2ヶ所を見学させていただきました。今回見学するにあたり、私のねらいは、“人・物・空間の環境”を考えるということでした。

まず、『のざわテットーひろば』は世田谷区の一等地にあるものの、そこだけが田舎に来たかのような自然のある環境でした。その中で、子どもたちが木登りをしたり、ダイナミックに水や泥だらけになって遊んだりする姿がたくさん見られました。また、ふらっと小学生が遊びに来て遊ぶ場面にも遭遇し、いつでも、誰でも集えるひろばであると感じました。いつでも、子どもたちが思い思いに遊べるように環境がなされていることも、のびのびと遊べるのではないかと思います。そして、「この子

のお母さんはどなた？」「この子とこの子は兄弟？」と分からない程、室内・戸外を問わずに、我が子もその子も一緒というように、子どもたちをみんなで見守り、かかわるお母さん方はとても印象に残っています。

《施設の概要》「地域みんなで子育てしよう！」「子どもたちにもっと自由な遊び場を！」という想いで開放された私有地を利用して活動しています。運営は子育て真っ最中のお母さんや先輩お母さんを中心とした地域住民グループ(2010年NPO法人設立)によって行い、行政と連携をとりながら、「子どもが生き生きと遊べる場」を作ることを通じて、みんなが笑顔で子育てにかかわれる環境、地域コミュニティづくりを目指しています。



のざわテッターひろば  
\*くつろげるテラス



\*手作りのすべり台

『ゆったりーの』では、利用する保護者が自主的に活動、行動をしていると感じました。遊びスペースの物的な環境の他に、ゆったりと過ごせるカフェスペースのような空間もあり、たいむに少し似た雰囲気もありました。建物は、区立の保育園だったところを利用して活動をされているので、元々の保育室を改造し、広い空間で子どもが思い思いに遊べるようになっていました。赤ちゃんルームの工夫や環境設定、ひろばの玩具の収納や配置、掲示物なども参考になりました。



\*ゆったりーの カフェスペース \*庭

《施設の概要》親と子と地域がみんなで作るみんなの居場所です。乳幼児の親子が気軽に遊びに来られる。ゆったりーのへ関わる全ての人が「会員」となり、全員がアイデア・労力・資金などを出し合う「会員制」で運営しています。一方的なサービス提供ではなく、みんなで作る場であること、長い時間をかけて循環していくことを大切にしています。未就園児と幼・保育園児(3-5歳児)の利用は曜日がこととなります。

たいむは“みんなで創るひろば”を目指していますが、通常スタッフが人的な環境に重きを置いていたことにも気付いた結果となりました。元からある空間や環境をどのように工夫し、活かして活動することが望ましいのかなど、様々な場面で統括の石井にアドバイスをもらったり、スタッフ間で意見交換をしたりしていますが、私自身ひろばの環境設定が不得意であると感じており、奥が深くとても難しい課題だとも感じています。以前から、石井より、「物的な環境をもっと整えよう」「人的環境と物的環境は・・・」と話を聞いていましたが、なかなか腑に落ちませんでした。しかし、今回の見学があったことで、「そうか、なるほど」と腑に落ちました。

子どもに例えると、いつでも遊べる物や場所があることで、他者とかかわり、アイデアを出し合い、協力し合って遊びが発展していくと予想されます。それを大人に置き換えてみると、いつでも集える場所があることで、いろいろな人との出会いがあり、悩みや喜びを共有し合い、たくさんの交流が生まれてくると考えます。そういったことを利用者の視点として更に入れていきたいという想いと、ひろばの内容をもっと利用者に見えやすくするために、今年度から始まった「たいむを育てる会(運営委員会)」の役割はとても重要になると感じました。

たいむの“まいぺーす・まいすぺえす”も、利用する保護者(会員)が“自主的に、そして自由に、時間とスペースを使う”ことを目的とし、“たいむ会員は利用者であり、スタッフである”という自己責任と主体的活動の機会になればとの思いで2012年秋からひろばを開放していますが。“まいぺーす・まいすぺえす”の日の利用者数は、通常開室時よりも来室者数が圧倒的に少ないという現実があります。このことについても、スタッフの人的環境が大きく関係しているのではと考えるようになりました。

他の環境を見られたことはとても有難く、とても有意義な日でした。内輪だけの小さな世界だけではなく、よそを見ることで、自分のひろばの良い点・改善点がみえやすくなりました。学内で活動するひろばの難しさはありますが、スタッフの役割とは何か、どうあるべきなのかと、スタッフ間で話し合う必要があります。(本田)

◇ セタ飾りをしました☆ ◇ 6月30日(金)～7月7日(金)



今年もたいむの廊下に笹竹を設置し、短冊や飾り付けをしました。五色の短冊には「けいさつになりたい」「サッカーせんしゅになりたい」「おはなやさんになりたい」など、年長児が自分で書いた願い事が飾ってありました。また、お母さんと一緒に短冊を書いたり、飾りを作ったりと小さな子どもたちも楽しんでいました。



セタは一年のうちで大きな行事にはならないかもしれませんが、大人も短冊を書いたり、飾り付けたりすることで、季節の行事に触れるよい機会になると思います。

みんなの願い事が天まで届いていますように！

◇ たいむ手芸部 ◇ 7月3日(月)～7月14日(金)



お母さん方とアイデアを出し合って、定期的にフェルト製作などを行っています。今回はボタンを付けたフェルトの玩具を作りました。ボタンの練習や手先の遊びがねらいでもあります。

手芸が好きな方、挑戦してみた方といろいろで、お母さん同士で会話を楽しみながら、時々縫い方を教え合うこともありました。

フェルトの色選びやサイズカットなど、お母さんも一緒に行うことで、より楽しめたのではと思います。自分で最後まで仕上げた時の達成感嬉しいですね。お母さん方の表情が印象的でした。

◇ 残念・・・ドジョウつかみ大会 ◇ 7月26日(水)

今年で4回目になる『ドジョウつかみ&柳川井』を予定していましたが、急速当日の朝に延期のお知らせをしました。

前日の夕方にドジョウの様子を確認した時には、元気に飛び跳ねていました。しかし、水が合わなかったのか、酸素が足らなかったのか原因は解りませんが、残念ながら当日の朝にはほぼ息絶えていました。

生き物を飼うことの難しさを実感した日でもありましたが、こういった経験を通して、“生き物の命をいただく”ということも伝えていけるように考えています。

次回のドジョウつかみ、ぜひご参加ください。\* \* 水温を馴染ませている様子



◇ うたとおはなしのひろば ◇ 7月27日(木) 13:00-13:20

池谷ゼミの2年生の学生たちが、昼休みの少しの時間に行っています。6月に3週間の幼稚園実習を終えた彼女たちは、緊張した表情はあるものの前回よりも自信に満ちていて、笑顔が絶えませんでした。

夏休みということもあり、1歳から小学2年生までが参加しました。『すてきな帽子屋さん』のパネルシアターや、紙皿シアターと、子どもも大人も笑顔で観ていました。今回は初めて、学生がクラリネットを演奏したり、キーボード、タンバリン、ジャンベ、



サンバホイッスル(池谷先生)を吹いたり、楽器に合わせて『アイアイ』を歌いました。また、パネルシアターの時にも、クラリネットとキーボードに合わせて演じていたので、一緒に歌ったり、音を楽しんだり、子どもたちがいつもより話に集中しているように感じました。

終了後には、キーボード、タンバリン、ジャンベに実際に触れ、自分で音を出したり、キーボードの自動演奏に合わせて、子どもたちが思い思いにリズムを刻んでいたり喜んでいました。親子でのふれあい遊びにもなったようです。

今回は8月3日(木)です。今度はどんな楽器が登場するのでしょうか？ お楽しみに

### ◇ 水あそび楽しいね ◇

大きなプールにタライの水(湯)で、気持ちよさそうに遊んでいます。今年も初めての水あそびを経験する子もいて、慎重に手や足を水につける子、お母さんと一緒にプールに足を入れてみる子、学生と一緒に水鉄砲で遊ぶ子と、子どもたちの表情や仕草に大人たちも微笑ましく見守っています。また、幼稚園のお兄さんやお姉さんの遊ぶ姿を真似ながら、水鉄砲に水を入れてみようしたり、プールの後片付けを行ったりする2歳、3歳の子どもたちもいます。

子ども同士のかかわりの他に、水あそびでの怪我などが無いよう、お母さん同士でお互いに我が子を見合っています。引き続き、みんなで見守りながら楽しめるようにしていきたいです。

\* 初めての水あそび



### ◇ おもしろエピソード！！ ◇

7月26日のドジョウつかみが残念ながら延期になってしまいましたが、室内で元気に遊ぶ子どもたち。そのうちの一つの遊びが微笑ましかったのでご紹介します。

スタッフ石井が、外れてしまった気球のモビールを取り付けるために椅子にのって作業を始めると、小学2年生のHちゃん、年長児のNちゃんを中心に洗濯ばさみのデコレーションが始まりました。周りのお母さんたちは笑いを堪えるのがやっとのこと。しばらくすると、『素敵なお母さん像』の周りにはたくさんのギャラリーができました！

ちょっとしたイタズラ(洋服に洗濯ばさみをこっそりをつける)心から始まったこの遊びですが、HちゃんとNちゃんの遊ぶ様子を見ていた子たちがどんどん集まり、いつの間にか「どこまで長くつなげるか」というルールもできていました。子どもたちが集まれば、どんな物でも遊びになりますね。スタッフ石井も自分の姿に驚いていたので、みんなで笑ってしまいました！



## ◆ 第2回 流しそうめん ◆

第1回の流しそうめんは、初めての夕暮れ時に行いましたが、今回は例年通り、お昼に行います！



夏ならではの流しそうめん。みんなで楽しく食事をしませんか？

【日 時】 8月1日(火) 10:30-12:30

【場 所】 短大 中庭

【参加費】 大人 300円 子ども 100円

【持ち物】 箸、茶碗、フォーク、着替え、各自必要なもの

## ◆ まんぷくCAFE ◆ 夏祭り気分で、プチ縁日を行います。

【日 時】 8月18日(金) 13:00-17:00

【場 所】 短大 中庭

【参加費】 大人 300円 子ども 100円

※なるべく予約をしていただけると助かります。

## ◆ 第4回 ドジョウつかみ&柳川井 ◆ お待たせしました!

7月26日に予定していましたが急遽延期になってしまい、大変ご迷惑をおかけしました。

なかなか掴めないドジョウに大人も子どもも大奮闘！ ドジョウつかみの後は、柳川井 & から揚げにして食べます。

ドジョウの味は、「想像していたより美味しい」という声も・・・！！ ぜひご参加ください。



【日 時】 8月22日(火) 11:30-13:00

【場 所】 短大 中庭

【参加費】 300円

【持ち物】 箸、スプーン、飲み物、着替えなど

## ◆ たいむでBBQ ◆ 8月22日(火)のドジョウつかみと一緒に、BBQも行います。

※ BBQについての詳細は後日お知らせします。

## ◆ たいむの夏季休業期間について ◆

短期大学の夏休みに伴い、8月11日(金)～8月17日(木)まで少しの夏休みをいただきます。

通常開室は8月21日(月)のおやこのじかんからとなります。

\* 8月18日(金)・・・中庭にて、まんぷくCAFEのみ行います。(13:00-17:00)

\* 8月19日(土)・・・たいむにて、ツキイチたいむ(10:00-15:00)